

# マダガスカル の 港湾拡張工事受注



トアマシナ港（パッケージ2）工事概要図

## 五洋・大豊JV 342億、26年2月完成目指す

五洋建設と大豊建設は、マダガスカルのとアマシナ港湾公社が発注した「とアマシナ港拡張事業（パッケージ2）」をJVで受注し、2021年12月9日に着工した。JVの受注金額は342億円（受注当時）で、23年10月の一部供用開始、26年2月の工事完成を目指す。

とアマシナ港は、同国最大の商業港で、西インド洋の物流拠点となっているものの、港湾設備が十分でないため需要の増加に対応できていない。同港を物流拠点にするための整備事業で、国際協力機構（JICA）の円借款事業として18年4月から21年6月までパッケージ1を実施した。

五洋建設・大豊建設JVが受注したパッケージ2は、防波堤の延伸345㍍、水深16㍍・長さ470㍍のコンテナ貨物用C4パースの新設、コンテナヤードの舗装・拡張10㍍、既設コンテナ貨物用C3パースの増深（水深16㍍）、既設バルク貨物用C1・C2パースの増深（水深14㍍）などで、23年10月にC4パースの一部を供用する。同JVは、20年2月に受注していたものの、コロナ禍で中断し、同年12月から準備工事に着手した。

起工式には、同国のアンジ・ニリナ・ラジョリナ大統領や樋口義広特命全権大使など計400人が出席したほか、五洋建設からは田口治宏執行役員国際部門担当、大豊建設からは釣部敏雄執行役員海外支店長が出席した。

